

水なす囲い込み栽培防除例

泉州農と緑の総合事務所農の普及

平成17年4月1日作成

時期	対象病害虫	農薬名	使用基準	備考
5月上旬 (定植時)	アブラムシ類 アザミウマ類	スタークル粒剤	1g/1株、 定植時/1回	定植と同時にソルゴーをは種する。
6月上旬	テントウムシダマシ類 アブラムシ	ディプレックス乳剤	1000倍 前日/3回	ハダニ類が増加する恐れがあるので、合成ピレスロイド系殺虫剤は使用しない。
6月中旬 ~ 7月中旬 (梅雨期)	アザミウマ類 アブラムシ類	プレオフロアブル	1000倍 前日/4回	この時期、定植時の粒剤の効果が切れる。 ハナカメ類の発生が近いため、影響大きい薬剤使用を避ける。
	ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍 前日/3回	食害痕を確認したら防除する。
	黒枯病・灰色かび病	ベンレートT水和剤	2000倍 前日/3回	
	うどんこ病	ジーファイン水和剤 サンクリスタル乳剤	1000倍 前日/6回 1000倍 前日/6回	ジーファイン単剤では汚れるので、サンクリスタルを混用する。
7月下旬 ~ 8月下旬	ハダニ類	バロックフロアブル (カネマイトフロアブル)	2000倍 前日/2回 2000倍 前日/2回	バロックは成虫には効果がないので、既に多発している場合は、カネマイト等速効性の薬剤を使用する。 ロディー乳剤は天敵への影響が大きいので使用しない。
	チャノホコリダニ	オサダン水和剤 2.5 (コテツフロアブル)	1000倍 前日/2回 2000倍 前日/2回	チャノホコリダニは晴天が続くと発生しやすい。
	オオタバコガ ハスモンヨトウ	デルフィン顆粒水和剤 (マトリックフロアブル)	1000倍 前日/4回 2000倍 前日/3回	ハスモンヨトウの老齢昆虫には効果が弱いので、コロニーを確認した時点で防除する。
	うどんこ病	ジーファイン水和剤 サンクリスタル乳剤	1000倍 前日/6回 1000倍 前日/6回	ジーファイン単剤では汚れるので、サンクリスタルを混用する。
	うどんこ病、すすかび病	トリフミン水和剤	3000倍 前日/5回	
9月	ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍 前日/3回	
	すすかび病、灰色かび病、 うどんこ病	ベルコート水和剤	3000倍 前日/3回	台風通過後など強風の後には、病害が広がりやすいので、防除する。
	黒枯病、灰色かび病 うどんこ病	トップジンM水和剤	2000倍 前日/-	
10月 ~ 11月	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	2500倍 前日/2回	気温が下がるとハナカメの活動が弱るため、アザミウマの被害が増えることがあるので防除する。

農薬の登録内容は頻繁に変更されます。最新情報を確認して使用しましょう。